

大成の森林

平成17年8月 1 檜山森林管理署
大成森林事務所
Tel 01398-4-5125



こんにちは、

大成森林事務所です！

今年の4月、大成森林事務所に赴任してきた江田です。どうぞよろしく申し上げます。昔でいう営林署の担当区主任にあたる森林官をしています。大成町の皆さまの中には、国有林でどのような仕事をしているのか分からない方もいると思い、国有林の事をよく知って頂くために、このような広報誌を作ることになりました。定期的に発行し、森林事務所や森林管理署の業務紹介、季節の山の様子などをお伝えしたいと思っています。



森豆知識 蘗（ひこばえ）: 伐った草木の根株から出た芽

大成の国有林

大成町の面積の七十五パーセント（約一万ヘクタール）が国有林です。白別温泉、太田神社周辺、貝取澗温泉の奥なども国有林になっています。その大部分が保安林に指定され、災害の防止や水源かん養等の機能を発揮させるため、森林の伐採や開発を制限しながらその保全を図っています。また、白別は風景林、貝取澗は風致探勝林として、国民の保健・文化・教育的利用等に広く提供できるようレクリエーションの森に指定されています。

森林事務所の仕事

森林事務所は、国有林の管理経営の最先端に立つ組織で、国有林を適切に管理（植林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等）しています。また、林道の点検や、ゴミの不法投棄、盗伐等がないか森林パトロールを行っています。

ヒグマ・ハチに注意

山でヒグマの痕跡（足跡・糞）をよく見かけます。もし痕跡を見た場合は、無理せず下山して下さい。

また、夏はハチが活発に動き回る時期です。ハチに出会っても無理に追い払ったりせず、その場から静かに立ち去るようにしましょう。

エウスカシコ

高さ20〜90cmになる多年草。海岸の砂丘・岩石地に生える。斜里海岸の群落が有名。

（写真 7月初旬貝取澗にて）



大成の森

平成17年10月 No.2 檜山森林管理署
大成森林事務所
Tel 01398-4-5125



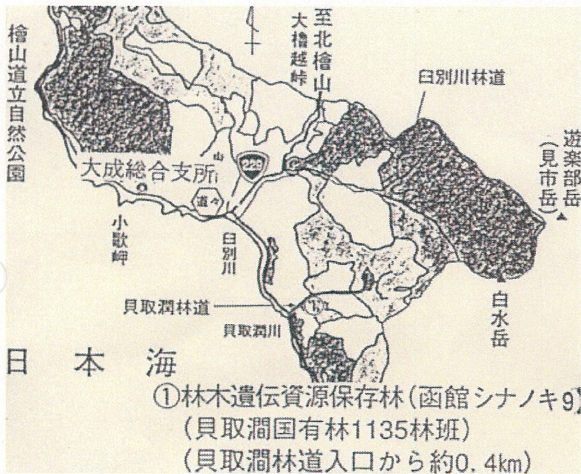
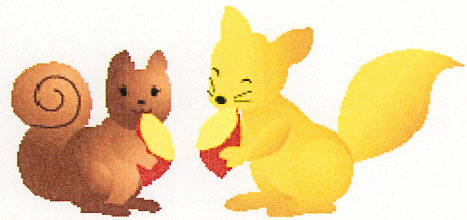
国民の森林・国有林

こんにちは、大成森林事務所です！

10月に入り朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。この寒さに伴い、冬の到来を知らせる雪虫が見られるようになりました。雪虫はタマワタムシ科アブラムシの総称で、北海道には十数種もの種類がありますが、最も一般的なのは「トドノネ オオワタムシ」です。この「トドノネ」が示すとおり、夏から秋にかけてはトドマツの根の汁を吸いながら生活し、初雪が降る数週間前にヤチダモの木に一斉に移動します。私たちは、その引越し風景を見ていることとなります。体に白い口ウ物質をつけてフワフワ飛んでいる姿は雪のようですが、実は害虫です。しかし、年々その数は少なくなってきました。



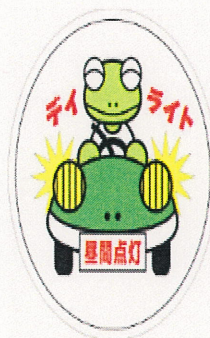
雪虫：体長は5mm程度



☆大成の国有林
林木遺伝資源保存林
主要林業樹種のひとつであるシナノキの遺伝資源を保存するため、貝取澗風致探勝林の入口に位置するシナノキ林に、林木遺伝資源保存林を設定しています。森林現況は、主にシナノキ、ブナ及びミズナラが上層部を占め、中下層にはイタヤカエデ等が占めている広葉樹林です。今後ともその保全に努めるとともに、森林観察、自然探索の場として利用を図っていきます。



◇ピレオギク
高さ10〜30cmになる一年草。日本海に面した海岸に分布する。太平洋側のコハマギクに似ているが、ピレオギクは葉の切れ込みが深い。



◇デイ・ライト (昼間点灯)
林道は道が狭くカーブも多いので、対向車に気づくのが遅れると事故につながりとても危険です。昼間でも車のライトを点けて走行し、交通事故防止に御協力お願いします。

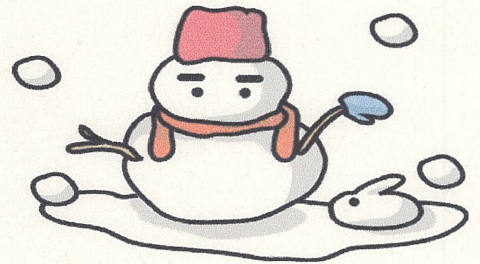
大成の森

平成18年 2月 No.3 檜山森林管理署
大成森林事務所
Tel 01398-4-5125



国民の森林・国有林

今年の冬は、雪の量がとても多いですが、この雪の中、冬の仕事のひとつとして、森林の現況調査をしています。冬山は、笹が雪の下に埋まり作業しやすく、また、木の葉もないので全体像が容易に把握できます。調査は、立木本数、胸高直径、樹高、森林蓄積等の現況を把握して、その状況を明らかにし、森林計画の樹立等、国有林管理経営のための森林情報として活用しています。



☆大成の国有林

貝取潤風致探勝林

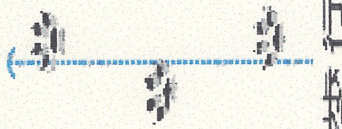
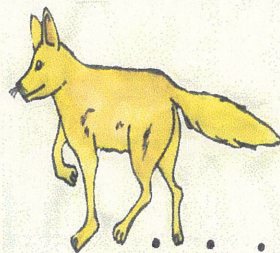
大成は、植物地理学上においてキタゴヨウの北限、アカエゾマツの隔離分布の地として知られています。

貝取潤国有林は、安山岩類や流紋岩が形成する深い渓谷になっており、新緑、紅葉の季節には、その渓谷美を求めた多くの人々を、森林浴や温泉浴に誘う風致探勝林になっています。

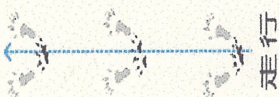


◇動物の足跡

この季節、雪の上に動物達の足跡が残ります。動物達の足の形や、歩き方の特徴から、どんな動物か見分けることができます。今回は、キツネとリスを紹介します。



キツネの足跡は、どこまでもまっすぐについていきます。雪の深い所では、足を引きずるのも特徴です。



リスは前足も後ろ足も並んでつきますが、大きい方が後ろ足です。

大成の森

平成18年 5月 No.4

檜山森林管理署 大成森林事務所

Tel 01398-4-5125



国民の森林・国有林

長い冬も終わり、暖かい季節がやってきました。山菜採りで山に入る方も多いと思いますが、遭難などしないよう無理のない行動に心がけて下さい。また、5、6月は山火事の起こりやすい時期です。出火原因は人の不注意によるものが多く、タバコの不始末やたき火などで起きています。林野パトロールも強化して行っていますが、山火事を起こさぬよう、皆さまのご協力よろしくをお願いします。



シラネアオイ



☆大成の国有林

白別風景林

急峻な地形の中に、雄大な自然が残されていることや、森林浴等に多くの人が訪れていることから、風景林を設定し、景観を保全しています。

◇ヒグマに注意

ヒグマに注意!!
～ヒグマに会わないために～

- 1.一人では入林しない。
- 2.「鈴」、「ラジオ」、「大声で話す」など音を出しながら歩きましょう。
- 3.薄暗いときは、入林しないようにしましょう。
- 4.ヒグマのフンや足跡などを見つけたら、すぐにひきかえしましょう。
- 5.残飯、生ゴミ、空カンはヒグマを呼び寄せますので持ち帰りましょう。

◇オオサクラソウ

高さ20〜40cmになる多年草。茎は直立、しばしば株立ちする。北海道（西部）、本州（北・中部）に分布。



大成の森林

平成18年 8月 No.5

檜山森林管理署 大成森林事務所

Te l 0 1 3 9 8 - 4 - 5 1 2 5



国民の森林・国有林

8月に入りとても暑い日が続いていますが、林道や造林地に続く歩道・作業道の草刈りを行っています。これらの道は、木材の運搬や、森林の適切な維持管理など、森林づくりに欠かすことのできないものであり、そのため計画的な整備を行っています。

林道ゲートから先は、事業を行っていたり、落石などの危険箇所があるので、原則として通行禁止になっています。無理に入り込まないようお願い致します。



☆アカエゾゼミ

大成部内ではないですが、珍しいゼミを見つけました。

本州ではレッドテータブックに指定されているところもあり、関東以西では標高1000m以上の広葉樹林に生息し、ほとんど目にする事が出来ない。北海道や東北では平地でも見られる。ゼミの中では大型の部類で、北海道から九州地方まで生息している。



◇ハチに注意



ハチが活発に動き回る時期です。ハチ刺され予防法として、次の点に注意して下さい。

- ハチや巣に近寄らない、ハチをおびやかさない。
- 山に入るときは、長袖、長ズボン、手袋を着用する。
- 黒い衣服を着ない。
- よい香りがするものをさける。

◇エゾカワラナデシコ

高さ30〜50cmになる多年草。花は茎の先に数個つき、花弁の先は細かく切れる。低地や海岸の草原に生える。



大成の森林

平成18年 10月 No.6

檜山森林管理署 大成森林事務所

Tel 01398-4-5125



国民の森林・国有林

10月の紅葉シーズンもピークを過ぎ、寒い冬が近づいてきました。山では造林作業として、つる切り・除伐を行っています。つる切り・除伐は、植えた木の生育を妨げる邪魔な木やつる、先端が折れたり、曲がったり、健全な生長が望めない木を切る作業です。つる切り・除伐を行う事により、植栽木の健全な生長が促されます。



つる切り・除伐後の造林地



白別温泉前の風景



↑ 実際に運転してます

群馬県沼田市にある林業機械化センターで、高性能林業機械の講義及び実習を受けてきました。高性能林業機械は、労働力の軽減に必要であり、山での作業を効率良く行うために重要な役割を果たします。左写真はプロセッサと呼ばれる造材機で、林道や土場などで全木集材されてきた材の枝払い、玉切り（一定の長さに切る）を連続して行い、玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械です。他に2台紹介します。

☆高性能林業機械



◇フォワード（積載式集材車輛）
玉切りした短幹材を荷台に積んで運ぶ集材専用の自走式機械。



◇ハーベスタ（伐倒造材機）
従来チェーンソーで行っていた立木の伐倒、枝払い、玉切りの各作業と玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械。

大成の森林

平成19年 6月 No.7

檜山森林管理署 大成森林事務所

Tel 01398-4-5125



国民の森林・国有林

5月19日、檜山の森づくり たいせい植樹祭が、大成区貝取潤で開催されました。檜山のふるさとゆかりの木“ヒノキアスナロ”資源回復への取り組みの第一歩とすべく、平成10年度から檜山管内各町で、植樹祭が開催されてきました。当日は、天気はよくありませんでしたが、200人を越える参加者が一本一本丁寧に、苗木の植栽を行っていました。

植樹の後、小学生を対象にした森林教室を開きました。森林の役割について説明した後、翼を持った種の模型キットを一人一人に配り、子供達に作ってもらいました。子孫を多く残すために、樹木も種にいろいろな工夫をしているということを教えました。



植樹会場



森林教室



葉の裏面

ヒノキアスナロは山中に生える常緑樹で、高さ20〜30m。葉は鱗片状で十字形に對生、裏面に白い気孔線がある。用途は建築・器具材など、材の精油は薬用。

かつて檜山南部一帯に、ヒノキアスナロが生育し、この木材が、松前藩の財政に大きく寄与していたとの記録が残っており、「檜山」の地名は、このヒノキアスナロの生育していた山からきていると考えられています。



☆ヒノキアスナロ(ヒバ)



高さ50〜70cmになる多年草。花は数個が莖頂につき、長さ8〜10cm、橙黄色。朝開花し、夕方閉じる。湿原、山地や海岸の草原に生える。

◇エンカンゾウ

ハチが動き回る時期になりました。ハチ刺され予防法として、次の点に注意して下さい。

- ハチや巣に近寄らない、ハチをおびやかさない。
- 山に入るときは、長袖、長ズボン、手袋を着用する。
- 黒い衣服を着ない。
- よい香りがするものをさける。

◇ハチに注意

